

「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

令和2年12月23日(水)発行

目次

○ 会津農林事務所の取組紹介

- ・ 県オリジナル品種「里山のつぶ」が新嘗祭で献納されました！
- ・ 第2回GAP研修会を開催しました！
- ・ 「会津地域の農林業の将来に向けた意見交換会」を開催しました！
- ・ 地域みんなで農地や水路を守りましょう！
～多面的機能支払交付金の有効活用～
- ・ 宿根カスミソウ電照栽培の現地検討会を開催しました！
- ・ 昭和村で「集落で取り組む鳥獣被害対策研修会」を開催しました！
- ・ ミニトマトの移動式簡易養液システムによる隔離床栽培
- ・ 会津坂下町朝立集落における野鼠被害対策
- ・ 農業の魅力体験事業「フレッシュ農業講座」を開催しました！
- ・ イオン福島店で「奥会津物産フェア」を開催しました！
- ・ 第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました！



鶴ヶ城
(会津若松市)

会津農林事務所の取組紹介

県オリジナル品種「里山のつぶ」が新嘗祭で献納されました！

宮中行事の新嘗祭に献上される献穀者に、金山町で初めて株式会社奥会津金山大自然 代表取締役の押部清夫氏が選出されました。品種は県オリジナル品種「里山のつぶ」で、金山町横田の水田で、令和2年5月25日に献穀者の押部氏や来賓者による御田植え式、9月18日には^{ぬいほしき}抜穂式が行われ、無事収穫されました。抜穂式で押部氏は「今年は雨の日が多く心配したが、充実の実りを得た。献納まで細心の注意を払いたい。」と述べました。



(抜穂式の様子)
(献穀者 押部清夫氏(一番右))

新嘗祭献穀米では、厳かな神事などを執り行う場合もありますが、本年はコロナ禍もあり、略式で儀式を行いました。

皇居での献穀献納式も本年は省略されましたが、10月下旬に宮内庁へ送られ、11月23日の新嘗祭で献納されました。



第2回GAP研修会を開催しました！

令和2年11月25日（火）、会津若松市北会津町ピカリンホールにて第2回認証GAP研修会を開催しました。

研修会では、GAPの実践で多くの生産者が悩む記帳管理手法として、ウォーターセル株式会社の齋藤直人様より、パソコンやスマホ等を活用した営農支援ツール“アグリノート”についてご紹介いただきました。

研修会に参加した生産者は、アグリノートの基本機能や活用事例等について理解を深め、作業の省力化を期待し、導入を検討されていました。

また、GAP農産物の地産地消を進めるため、株式会社ヨークベニマル様、株式会社リオン・ドールコーポレーション様、生活協同組合コープあいづ様より、GAP認証取得農産物の取扱い状況や課題、今後の取組み方針などについて説明していただきました。

さらに、テーマ別相談会として、ウォーターセル株式会社の営農支援ブース、上述した小売業者3社の認証品販売ブース、会津農林事務所の認証取得支援ブースの3つに分かれ、情報交換を行いました。参加者は希望するブースで、疑問点や今後の要望等について積極的な意見交換をしていました。

今後も、生産者および各関係機関と連携しながらGAPの取組を推進していきたいと思っております！



（研修会の様子）



（テーマ別相談会）

【農業振興普及部】



「会津地域の農林業の将来に向けた意見交換会」を開催しました！

令和2年11月19日（木）、新しい「福島県農林水産業振興計画」の策定に係る会津地方の意見交換会を開催しました。

県では、新しい計画の策定に向けて、県内9カ所（農林7、水産2カ所）で農林水産業者等の方々より意見を伺い、策定を進めています。

会津地方の交換会では、農業（作物・畜産・園芸）、林業、流通・販売業の各分野で活躍されている7名の方、及び県農業振興審議会委員にご出席いただき、御意見をいただきました。

出席された方からは、将来の担い手や後継者の確保に向けた取組や、生産振興策などについて、幅広い意見をいただきました。

また、基本目標（仮）の「もうかる農林水産業の実現と誇れるふるさとの形成」についての印象など、率直な意見も聞くことができました。

新しい「福島県農林水産業振興計画」は今回いただいた意見や、市町村・関係団体等からの意見、パブリックコメントによる意見等を踏まえ、令和3年度中の策定を予定しています。



（意見交換会の様子）

【企画部】

地域みんなで農地や水路を守りましょう！～多面的機能支払交付金の有効活用～

農業や農村が持っている役割や機能とは何でしょう？

例えば水田には、雨水を一時的に貯めておくことで洪水や土砂崩れを防ぐ役割や色々な生き物の住み家となる機能があります。

また、農村では農業が営まれることによって、作物や農用地、周辺の水辺が一体となって美しい風景を作ります。

このような様々な恩恵を、農業・農村の持つ「多面的機能」といいます。

多面的機能支払交付金は、多面的機能が適切に発揮されるよう、活動組織（農業者や地域住民等で構成する団体）による共同活動（農用地や水路などの地域資源を守るために共同で行う作業）を支援します。交付金は、地域にあった取組に活用でき、活動参加者の日当や必要な資材の購入費等に使えます。



支援対象となる活動は、農業用施設の維持管理（農地法面の草刈りや水路の泥上げなど）以外にも、**田んぼダムの取組み**や**鳥獣害防護柵の設置**など、地域資源を守るために必要な様々な活動が対象となります。



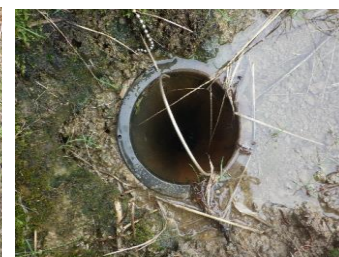
（農道の草刈り）



（水路の泥上げ）

田んぼダムの取組み

田んぼダムとは、田んぼが持っている「水を貯める機能」を利用して、台風や大雨の際に一時的に水を貯めておき、時間をかけてゆっくり排水することで、河川流域の農用地や市街地の洪水被害を軽減させようという取組みです。交付金を活用して、田んぼの排水口に調整板や調整管を設置することにより、排水が完了するまでの時間を稼ぎますので、比較的安価な経費で行えます。防災・減災に大きな効果が期待できますが、取組面積が少ないと効果が薄いため、広い範囲で取組む必要があります。



（排水口への調整管の設置）

鳥獣害防護柵の設置や維持管理

会津地域では、イノシシやサル、クマ等による農業被害が増えています。

鳥獣害防護柵（電気柵）の購入費用や設置作業の日当、防護柵周辺の草刈り日当等に交付金を活用することが出来ます。



（電気柵の設置）



多面的機能支払交付金は、国・県・市町村がそれぞれ一定の割合で全額負担しており自己負担がないため、とても使いやすい交付金です。交付を受けるための申請は、市町村で受け付けていますので、興味がある方は、まずはお住いの市町村へ詳しい内容をお問い合わせください。

多面的機能支払交付金を有効活用し、農村・農業の持つ「多面的機能」を、将来に向けて守っていきましょう！（HP：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/tamenteki.html>）

宿根カスミソウ電照栽培の現地検討会を開催しました！

会津坂下農業普及所では、昨年度から「アグリふくしま革新技術加速化推進事業」に取り組み、宿根カスミソウの春期の開花促進と晩秋の切り残し解消を図ることを目的として、電照栽培の実証試験を行っています。電照栽培は定植後から収穫開始までの期間に、22時から2時までの夜間4時間電照することで開花時期を早めることができます。

令和2年10月23日には生産者やJAなどの関係者を対象に、会津坂下町の実証ほ場において現地検討会を開催し、電照栽培の概要や実証経過等について説明しました。

今後は、開花時期や収量等について取りまとめ、マニュアルの作成等を通じて普及推進を図ります。



【会津坂下農業普及所】

昭和村で「集落で取り組む鳥獣被害対策研修会」を開催しました！

会津坂下農業普及所では令和2年11月26日に昭和村との共催により、昭和村公民館において「集落で取り組む鳥獣被害対策研修会」を開催しました。

研修会では最初に、昭和村の担当者から村独自の鳥獣被害対策への支援内容を紹介し、野尻集落と両原集落の取組事例について両集落の代表者より報告をいただきました。さらに、金山普及所よりセンサーカメラによる鳥獣の発生状況調査結果を報告の後、NPO法人おーでらす代表の今野万里子氏より様々なご助言をいただきました。

最後に、これまで「鳥獣被害対策の総合的な対策を行うモデル集落」として活動を支援してきた柳津町の長倉集落と会津坂下町の朝立集落の取組みについて紹介し、研修会を通して、個人ではなく集落として対策に取り組むことの効果や重要性について示しました。

当普及所では、管内の町村や関係機関、専門家等と連携し、今後も鳥獣被害対策支援に取り組んでまいります。



(研修会の様子)
(講師の今野万里子氏(一番左))

【会津坂下農業普及所金山普及所】

ミニトマトの移動式簡易養液システムによる隔離床栽培

水稻育苗ハウスを利用した園芸品目の導入による水稻農家の収益向上及びミニトマトの産地拡大と生産性の向上を目的に、昨年度から取り組んでいる「ミニトマトの移動式簡易養液システムによる隔離床栽培の実証」試験（アグリふくしま革新技术加速化推進事業）の結果について報告します。

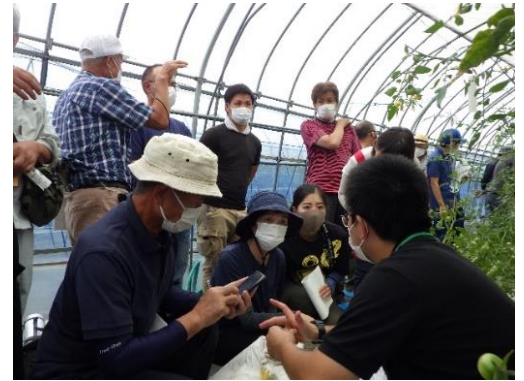
今年度の収穫量は、8月末（主枝第4果房）までで約500kg/3aであり、主枝第12果房までの収穫であれば、約3.8t/10aの単収が期待できます。

また、経営試算の結果、ハウス1棟分（3.2a）にかかる導入コストは、846千円であり、2年目で導入コストを回収可能で、3年目以降の所得は766千円と見込まれました。

かん水と追肥は、自動かん水同時施肥システムによる自動制御であり、タイマーを設定するだけで良く、省力的で、かん水・追肥以外の管理作業に十分な時間をかけられます。

今後は、ミニトマト以外の品目にも応用するなど技術の普及に生かし、会津地方の園芸産地の発展並びに農業者の所得向上に努めたいと考えています。

【喜多方農業普及所】



（9月18日 現地検討会）

会津坂下町朝立集落における野鼠被害対策

会津坂下町の朝立集落では、7月中旬から8月末にかけて野鼠による水稻の食害が発生しました。被害規模が大きく、来年度以降の発生も懸念されることから、野鼠対策が急務となっています。

【対策の経過】

- 7月22日 被害状況の確認
- 8月7日 被害状況の確認および野鼠対策指導
- 9月3日 被害面積および金額調査
- 11月13日 次年度の野鼠対策検討会
- 11月17日 令和2年度の鳥獣被害対策実績検討会
- 12月3日 シャーマントラップ設置
- 12月7日 バケツによる捕獲トラップ設置

【今後の活動】

野鼠捕獲のためのトラップによる加害野鼠の種類特定を行います。また、鳥獣被害対策や野鼠の生態に詳しい専門家に助力を求めながら、適切な薬剤の選択や散布方法の指導等、効果的かつ現実的な対策を集落と共に検討します。



（集落の被害水田（8月7日））



（集落の実績検討会（11月17日））

【会津坂下農業普及所】



農業の魅力体験事業「フレッシュ農業講座」を開催しました！

次代を担う若者に会津地域の農業について学び、農業への理解、関心を高めることを目的とし、令和2年11月17日（火）、会津農林高等学校の生徒29名、教員6名を対象に、猪苗代ライスターミナルと猪苗代町優良堆肥製造施設の施設見学を行いました。

猪苗代ライスターミナルはフレコン出荷された玄米を高性能色彩選別機等により均質化する施設で、講座では選別から精米、包装までの製造工程を見学しました。非農家の学生が多く、初めてみる多数の大型機械に終始驚いている様子でした。

猪苗代町優良堆肥製造施設は猪苗代町内の家畜排せつ物等を原料とした堆肥製造施設で、製造された堆肥は町内外の耕種農家に販売されています。施設では未熟堆肥から完熟堆肥になる過程を、触って、嗅いでもらうことにより水分量や臭いの違いを体験してもらいました。

学生へのアンケート結果では、授業では知ることのできない地域の循環農業についても知識を深め、農業への関心が増したという意見が多数あり、今後もこうした活動により会津の新規就農者の確保を推進してまいります。



(ライスターミナル・フレコン貯蔵庫)



(猪苗代町優良堆肥製造施設・オープン昇降式 攪拌機)

【農業振興普及部】



イオン福島店で「奥会津物産フェア」を開催しました！

令和2年10月17日（土）～18日（日）福島市のイオン福島店において「奥会津物産フェア」を開催しました。

本フェアは奥会津地域（柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町）の食や自然、風景などの地域資源をPRすることで販路拡大と観光誘客につなげることを目的に、4年前から実施しています。

当日は9事業者の魅力ある農林水産物・6次化商品が勢揃いし、この日のために準備した新商品と只見線ジオラマで来場者を出迎えました。完売商品も出るなど、大盛況のうちに幕を閉じました。

ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。次回のフェアにご期待ください！



(当日の様子)

柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町

奥会津物産フェア

令和2年10月17日（土）
10:00～18:00
18日（日）
9:00～17:00
イオン福島店1階食品売場催事場
(福島市南大野町西見50-17)

税込2,000円以上
お買い上げ
各日先着100名様へ
お礼として
奥会津6次化商品
をプレゼント!

取扱商品(出店・出品者)
 無農薬のブルーベリージャム(にしやまブルーベリー園)
 山菜加工品各種(山菜亭・山菜亭・山菜亭)
 【物産博】幻の煮ばとうふ(玉取とうふ事業)
 奥会津金山天然産物の茶(金山町産物振興協会)
 原木しいたけ(青木農園)
 かすみソーラーハイブリッド(奥会津昭和村振興公社)
 米糠製パン(会津地区お米の会)
 泉太のどぶろく(泉太やまのうや)

【主催】福島県農業振興事務所
 【共催】奥会津物産振興協議会
 (柳津町、三島町、金山町、昭和村、只見町)
 【協賛】イオン株式会社
 福島県農業振興事務所 公益財団 福島県観光振興局
 電話: 024-231-0101

【企画部】



第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました！

令和2年11月14日（土）、11月15日（日）に猪苗代ライジンググサンホテル ヴィライナワシロで第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました。

当日は、福島県の新ブランド米「福、笑い」、GAP認証農林産物や会津地鶏を使用した特別メニューを宿泊者へ提供しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた農林産物の消費拡大を支援するため、手打ちそばを提供し、施設館内に会津産の花をディスプレイしました。

さらに、県産農林水産物やGAPに関するアンケート調査を実施し、アンケートにご協力いただいた方に猪苗代町の6次化商品「うまくて生姜ねえ」と会津産の花をプレゼントしました。宿泊者からは「福島県産食材の美味しさを知ることができた」等の声をいただき、好評のうちにキャンペーンを終えることができました。

そして今回は、ヴィライナワシロでのイベントの他、「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている会津管内の宿泊施設（34施設）において、宿泊者へ「福、笑い」を提供し、アンケート調査を実施しました。

今後もイベント等を通して、県産農林水産物の魅力やGAPのPRを実施していきたいと思っております。



GAP認証農林産物、会津地鶏を使用した特別メニュー



（「福、笑い」とGAPのPR）



（そば打ちの実演）



（会津産の花のディスプレイ）

【企画部】

【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局
 （福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内）
 〒965-8501
 福島県会津若松市追手町7番5号（会津若松合同庁舎2階）
 TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389
 E-mail : kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

